

大学院

地球市民学演習「地球市民学の諸相」（専任教員6名のオムニバス授業）

1. テーマ

地球市民学をさまざまな切り口から考察する。

2. 授業内容

【庄司】地球市民学が学として存立しうる根拠を、市民とは？、市民の社会把握、市民の現代社会認識、市民の生き方と社会活動、の4つの面から考察する。テキストとして、庄司興吉編著『地球市民学を創る：地球社会の危機と変革のなかで』（東信堂、2009）の「はじめに」「序」「第5章」を用いる。

3. 授業計画

初回のイントロダクションのあと、6人の専任教員がそれぞれ3回ずつ授業を担当するので、庄司の授業もその一環としておこなわれる。6人の授業の合間に数回の公開合同セミナーを行い、外部からの講演者などの話題提供にもとづいて議論をおこなうので、この際は「地球社会論と地球市民学」（庄司担当）の授業時間と合同で、18時10分から21時20分まで2コマ分の時間を使うことになる。公開合同セミナーには、全教員および全院生が参加するほか、学内外からの参加を歓迎する。

4. 授業方法

講義と議論を中心とする。具体的な方法はイントロダクションで説明する。

5. 評価方法

出席を含めた授業への積極的な参加と課題にもとづくレポートその他で評価する。

6. 教科書・参考書

上記授業内容を参照。

この授業については、庄司のホームページを見て、必要な資料等があればダウンロードしておくこと。

該当ページは、「市民の社会学をめざして <http://www.kokshoji-globalcitizen.com/>」の「市民学の確立のために」のなかから探す。

庄司担当第1回（101104）

庄司の研究調査出張のため、教室での授業はなし。

各自、『地球市民学を創る』の「はしがき」「序 地球市民学という学は成り立ちうるか？」をまず読んでみる。そのうえで、第5章「地球市民学の構想：序説・社会理論・現代社会分析・実践論」を読み、全体を要約してみて、著者はどんなふうに地球市民学を構想しているか、それについての感想や意見、そのうえで自分としてはどんな地球市民学を考えるか、を3200字以上（A4用紙2ページ以上）書いてみることに。

次回までにそのコピーを参加者全員分（約12部ほど）用意してくること。次回（1111）と次々回（1118）はそれらをもとに全員で、地球市民学とは何か、それをどんなふうに構想するか、について議論する。

11月の公開合同セミナー（1125）は庄司が話題提供者となるので、議論はそこでも続く。できるだけ全員参加するよう努力すること。

庄司担当第2回（101111）

参加者のレポートにもとづく討論。地球市民学とは何か、が焦点。

庄司担当第3回（101118）

参加者のレポートにもとづく討論。地球市民学とは何か、が焦点。
討論時間を延長するかも。

庄司担当の部分を単位としてとる人たちへ

次ページの要領に従ってレポートを提出すること。

「地球市民学の諸相」(庄司担当分)

レポート執筆要領

1 課題:『地球市民学を創る』第V章その他をもとに庄司の考えている地球市民学の概要を述べ、それについて論評しなさい。

タイトルは自分のレポートにもっともふさわしいと思うものをつけること。

テーマの下、右側に、完成した日の日付と身分(院生、科目等履修生、など)および氏名を忘れずに書くこと。

本文は、適切に小見出しを入れ、読みやすくすること。

最後に利用した文献や資料のリストを、テキストの文献リストの方式にしたがって、挙げておくこと。

2 サイズ; 4000字以上、多くなるのは差し支えない。

ワープロで、A4用紙に横書き40字40行で印字すること。

A4用紙は左肩をホチキスで留め、バラバラにならないようにすること。

3 提出期限: 2011年1月13日(木) 19時

大学院研究室(馬場さん)に提出。

このレポートを提出しなかった者はこの授業の庄司担当分の単位を取得することを放棄したものとみなされる。

4 注意:

レポートの内容や書き方について、友だち同士で相談するのは差し支えないが、最後は必ず自分で考え、自分の文章で執筆すること。

テキストを含めて他の本や論文、記事、インターネット・ページなどからの引用は、必要最小限度にとどめ、かならず「」でくくって自分の文章と区別し、どこからの引用かを示すこと。

他人のものをそのまま写したり、書かれているものを無断で引用したりしてはならない。

同文またはほぼ同文と見られるレポート、およびテキストなどからの無断転用と見られるレポートは、一括して採点の対象にしないので、そのつもりで。

レポートは返却しないので、必要な場合は必ずコピーをとり、コピーを手元に残してオリジナルを提出すること。

(この科目のこれまでの経過などを見るには、インターネットで「庄司興吉のホームページ <http://www.kokshoji-globalcitizen.com>」の「市民学の確立のために」に入っさぎすこと。)